（臨床研究に関する公開情報）

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

造血幹細胞移植中の血液培養検出菌と監視培養との関連性の検討

[研究責任者]

江南厚生病院　血液・腫瘍内科　河村優磨

[研究の概要]

造血幹細胞移植の好中球減少期では高率に発熱性好中球減少症(FN)を発症し、またその一部で敗血症に至り致命的な経過を辿る症例も存在します。血液疾患患者では多剤耐性菌の保菌者も多くみられ、抗菌薬選択に際して過去の監視培養から検討を行う事が一般的ですが、過去検出菌と移植時の起因菌との関連性についてははっきりしていません。今回の研究は当院で行われた造血幹細胞移植症例における過去監視培養検出菌と、造血幹細胞移植中の血液培養発育菌との間の同一性や耐性機構の類似性について検討を行い、抗菌薬選択に際しての過去監視培養の重要性について明らかにすることが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院において 2018 年 1 月から 2021 年 9 月までに自家造血幹細胞移植もしくは同種造血幹細胞移植を受けられた 82 例について、電子カルテにて過去の培養結果及び、身体所見や血液検査といった項目が確認できる方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、原疾患、移植の詳細、生着に要した日数、細菌・真菌培養結果、血液検査 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院　血液・腫瘍内科　河村優磨

電話　0587−51-3333　　FAX　0587−51-3337